

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	現代文B	単位数	3単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	精選 現代文B 改訂版（三省堂）				
副教材等	改訂版評論速読トレーニング 1500（数研出版） 大学入学共通テスト改訂版 完成現代文（尚文出版） 新国語問題総演習改訂版（桐原書店）				

1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- ①文章を的確に理解し、適切に表現するための言語事項を身につける。
- ②文章の種類に応じて論理の構成や表現の工夫に注意して読むことで、内容を的確に理解し自分の考えを深める。
- ③言語を用いて自分の考えを他者に伝えるための効果的な方法を学び、適切に表現する力を身につける。

3 学習計画

期	単元・教材		学習内容	時間
1 学期	中間	評論「わかりやすいはわかりにくい？」	・「わからないまま正確に対処する」ことの大切さを、想定される場面の違いによって理解する。 ・「思考の肺活量」というキーワードを踏まえ哲学的論考を捉える。	38
		小説「鞆」	・物語の寓話的意味（「鞆」の意味）を理解するとともに、この物語が投げかけている問題について考える。	
	期末	評論「身体〈の〉疎外」 評論「病と科学」	・テクノロジーの発達によって、身体が私たちの心や意識を支配しかつ疎外しているという論理を読み取る。 ・論理の展開の仕方や具体例の用い方に注意を払い、決められた時間内で要旨をまとめる。 ・人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。 ・文章構成に着目して論旨をまとめることを通して、人々の科学信仰の結果どのような事態が生じたか理解し、現代の医療の問題点について考える。	
2 学期	中間	評論「判断停止の快感」	・「きれい」という言葉の二通りの意味を理解し、現代の「清潔願望」が異分子を排除する「快楽としての清潔」であることを理解する。	45
		小説「飛行機で眠るのは難しい」	・「男」の物語を聴くことによって生じた「私」の変化を理解し、「眠りの物語」の意味について考える。	
	期末	評論「南の貧困／北の貧困」 評論「虚ろなまなざし」	・キーワードや文章構成に着目して論旨をまとめることを通して、筆者の主張を読解し、現代社会の問題点について考える。 ・一枚の写真から生まれた筆者の問題意識と主張を理解することを通して、「ヒューマニズム」という言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。	

3 学 期	評論「日本文化の雑種性」	・本文の構成や展開、例示などの論証の工夫を理解する。 ・日本文化の雑種性と純粋化運動について理解する。 ・文化の雑種性の積極的意味について考える。	29
-------------	--------------	---	----

計112時間(47分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、

- ①定期考査の範囲に含める。
- ②長期休業中の課題として用い、課題テストの範囲に含める。
- ③小論文対策のトレーニング用に用いる。

など、さまざまな方法で用いるので、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立てること。また、提出を要する場合は遅滞なく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の5つの観点から行う。

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリントへの取り組みや、その提出状況
- ・長期休暇に出題される課題への取り組みや、その提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「現代文B」では、様々な文章を読み解くことを通していろいろな角度から現実を見つめ、自分の意見を持つことを大きなねらいとしています。特に、3年生では評論文を中心に学び、現代社会の諸事象に現れる問題点についての考察を深めていきます。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心掛けてください。また、授業を通して身につけた姿勢を日常生活にも生かし、積極的に言葉や社会と関わり、幅広い視野を持つ努力をしましょう。

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	古典B	単位数	3単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	高等学校 改訂版古典B 古文編 漢文編（第一学習社）				
副教材等	古典速読トレーニング標準（数研出版） 共通テスト対策古典完答24（尚文出版） 大学入学共通テスト対策改訂版 完成古典（古文・漢文）（尚文出版） 完全頻度順 入試対策ベストセレクション古文単語325（尚文出版） 基礎から解釈へ漢文必携四訂版（桐原書店）等				

1 学習目標

古典としての古文と漢文を読むことによって、日本の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。また、古典が現代の社会や文化とも大きく繋がっていることを自覚させ、思考力を伸ばし、心情を豊かにすることで言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2 指導の重点

- ・正しく音読し、適切に口語訳ができるようにする。
- ・辞典や文法のテキスト等を活用し、積極的に内容を理解しようとする態度を養う。
- ・文章の内容や構成を、展開に即して理解する。
- ・古文の助動詞や漢文の句法を理解する。
- ・古典作品の内容の面白さを理解する。

3 学習計画

学 期		学 習 項 目	時数	学 習 内 容
1学期	中	＜古文＞ 随筆 『枕草子』 宮に初めて参りたるころ 二月つごもりごろに	17	・随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・当時の宮廷生活や、清少納言と中宮定子の関係について、理解を深める。 ・漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。戦国時代の時代状況を読み取り、趙太后の気持ちの変化を理解する。また、触竜の説得の巧みさについても考えを深める。
	期 末	＜古文＞ 物語 『大鏡』 菅原道真の左遷 三舟の才 ＜漢文＞ 史記の群像 『史記』 孫臏 信陵君	20	・政治的な事件や人物にまつわる様々なエピソードを語った話を通じて、歴史物語の面白さに触れる。また、敬語表現や会話独特の文末表現や省略表現に注意し、口語訳に適切に生かす。 ・長めの文章を読んで、訓読上のきまりをより正しく理解し、話の内容を理解する。治乱興亡の世に対処する人々の人間像に触れ、ものの見方・考え方を理解し、思考力・批判力を養成する。
2学期	中 間	＜古文＞ 物語 『源氏物語』 須磨の秋 住吉参詣 ＜漢文＞ 古代の史話 「唇亡齒寒」	20	・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わい、敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知り、歴史の中の人間について考える。 ・感嘆・限定・反語などの句形の読みと意味について理解し、それに即して口語訳をする。

2学期	期 末	<古文> 日記 『蜻蛉日記』 うつろひたる菊 『和泉式部日記』 夢よりもはかなき世の中 <漢文> 史記の群像 『史記』「刺客列伝」 荊軻	30	・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即し的確にとらえる。 ・助動詞の知識を確認し、解釈に生かす。 ・物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。 ・訓読のきまり及び文型に習熟する。 ・事件の展開を正確に把握する。 ・中国の戦国時代の様相、そこに生きる人間の処世術について考えを深める。
3学期		<古文> 評論 『俊頼髓函』 歌のよしあし 『無名抄』 閑路の落葉 <漢文> 三国志の世界 『三国志演義』 諸葛孔明の智略 進路希望に応じた演習	25	・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌を鑑賞する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・謙譲語「給ふ」について理解する。 ・登場人物の心情がどのように表現されているか考える ・漢文独特の誇張表現のおもしろさを理解する。

計 112 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、授業の補完教材として用いたり、家庭学習用の教材として用いたりするので、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立てること。また、提出を要する場合は遅滞なく提出すること。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行います。

関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって古典に親しもうとしている。
読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え、古典に親しもうとしている。
知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリント等の取り組み状況
- ・長期休暇に出題される課題の取り組みや提出
- ・学習への参加状況

1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

授業は、予習をしっかりとて臨むことで学習効果が上がります。また、復習をしっかりとすることで、学んだことが身に付きます。そのため具体的には、本文の音読・本文筆写・漢文の書き下し文・意味調べ・口語訳等は、予習でわからなかったことを授業で確認するようにしましょう。そして、このような点をしっかりと復習しておくことが大切です。また、ノートは黒板に書かれたものをただ単に書き写しただけでは力がつきません。各自で自分なりのノート作成の工夫をしましょう。

分からないことをそのまま放置せずに、その都度調べたり質問したりするなどして解決しましょう。

令和２年度シラバス（公民）

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	公民(政治・経済)	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	第一学習社 高等学校 改訂版 政治・経済				
副教材等	政治・経済資料（東京法令出版） 4ステージ演習ノート 政治・経済（数研出版） 用語集 現社+政経（清水書院）				

1 学習目標

民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めます。現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけます。現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。国際社会の現状と諸課題について理解し、国際社会に生きる日本の役割について考察します。

2 指導の重点

学習目標の理解や考察を踏まえて、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。政治経済の基本的な問題にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考える態度を身に付けます。

3 学習計画

学期	単元	学習内容	時間
1 学 期 中 間	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原則 ①民主政治の成立 ②法の支配 ③基本的人権の確立 ④現代の民主政治 2節 日本国憲法の基本原則 ①日本国憲法の制定と基本原則 ②基本的人権の保障 ③平和主義	○民主政治の基本原則について、その成り立ちを理解します。 ○民主主義を支える「法の支配」、法の意義について学習します ○人権の意義と歴史的経緯および現状について理解します。 ○民主政治の主たる形態を学習します。 ○日本国憲法が保障する基本的人権について、平等権、自由権、社会権などに関する、具体的な判例に則しながらその特徴と課題について学習します ○日本国憲法の根本理念である平和主義について学習します。	20
1 学 期 期 末	3節 日本の政治機構 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治 4節 現代政治の特質と課題 ①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加	○憲法の条文を理解し、現実はどう機能しているかを学習します。 ○行政機構のしくみや権限について理解します ○裁判所の意義について現実の判例に触れながら学習します。 ○国政との関係を調べ、地方財政などの課題を考察します ○政党の役割について考察し、歴史的経緯について理解します。 ○一票の格差と選挙制度のあり方について考えます。 ○マスメディアやインターネットの役割について考察します。	22
2 学 期 中 間	5節 現代の国際政治 ①国際関係と国際法 ②国際社会の組織化と変容 ③国際政治の動向 ④国際政治の課題 ⑤地球環境と資源・エネルギー問題 ⑥地球市民社会における日本の役割 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立と発展 ②現代経済の特質	○国際社会の成立過程と国際法の関係について学習します。 ○国際連合の成立過程やしくみ、役割と課題について学習します。 ○戦後の日本外交や安全保障の動きを理解し、今日の国際社会における日本の役割について考えます。 ○地球環境問題と資源・エネルギー問題について考えます。 ○地球市民社会において個人として何ができるか、どう行動すべきかについて考察します。 ○資本主義経済の成立と変容を経済理論との関係でとらえます。 ○グローバル化や情報化が進む今日の資本主義経済の特徴について考察します。	22

2 学 期 期 末	2 節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能 3 節 日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状	○経済主体間の結びつきを考えながら、経済活動の循環について考察します。 ○資本主義経済の市場の働きと市場の失敗について理解します。 ○一国の経済規模をはかる計算方法について学習します。 ○金融・財政の基本的なしくみとともに銀行や中央銀行が果たす役割について理解します。 ○第二次世界大戦後の日本経済復興期の諸改革や高度経済成長、オイル・ショック・バブル経済とその崩壊などを理解します。 ○世界金融危機や東日本大震災後の日本経済の現状について考察します	22
3 学 期 期 末	4 節 福祉社会と日本経済の課題 ①公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食料問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉 5 節 国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 ②経済対立と国際協調 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済 第3章現代社会の諸課題 1 節 日本社会の諸課題 2 節 国際社会の諸課題	○公害問題と政府による公害への対策の動きについて学習します。 ○消費者問題とは何か、消費者主権の意義を考察します。 ○日本農業の現状と、日本農業の課題について考察します。 ○日本の中小企業の現状と課題について考察します。 ○労働者の権利や労働組合の意義について考察します。 ○日本の社会保障制度の4つの柱について理解を深めます。 ○貿易の意義についてリカードの比較生産費説をもとに理解します。また、国際収支のとらえ方や外国為替のしくみを学習します。 ○国際通貨体制やIMF・GATT体制の変遷について理解し、保護貿易主義の台頭と国際協調の動きについて考察します。 ○EUの成立過程と現状について理解し、ASEANやAPECなどさまざまな形態をとる地域的経済統合の動きについて考察します。	26

計 112 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

- ・特になし。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・政治経済の出来事や問題に関心を持っている。 ・自分から積極的に学ぼうとし、課題を探究しようとしている。 ・自分たちの生活をしっかりととらえ、より良いものへ改善しようとする態度や意見が見られる。
思考・判断・表現	・政治経済での出来事を広い視野に立って考え、いろいろな立場や考え方があり、それぞれ公正に判断しようとしている。 ・自分がどのような筋道で、考えたのかを理解し、反省や思考を繰り返し判断している。 ・自分の考えや意見を正確に伝え表現することができる。
資料活用の技能	・統計や資料を正確に読みとることができる。
知識・理解	・社会の出来事についての基本的な問題、政治経済のしくみなどをよく理解し記憶している。 ・政治経済の問題はいろいろなことが混じり合っていてできていることを理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査（予定）
- ・授業で活用するプリント
- ・学習への参加状況

また、1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

政治経済は今の時代に起こっている出来事、社会のしくみなどを学習し、皆さんの生活に直接関わるが多くあります。高校を卒業して困らないように、一般常識としてしっかりと学習し、自分の知識として利用できるようにしていこう。疑問などは、積極的に質問し、理解を深めていって欲しいと思います。（なお、この計画は、生徒の理解度・状況によって、計画が変更する場合があります。）

令和2年度シラバス (理科)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	理科 (生物基礎)	単位数	2単位	学年 (コース)	3学年 (国際教養科)
使用教科書	東京書籍 改訂 生物基礎				
副教材等	実教出版「三訂版サイエンスビュー生物総合資料」, 第一学習社「セミナー生物基礎」 第一学習社「ビーライン生物基礎センター試験攻略問題集」				

1 学習目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心・探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたいうで、その知識を有効に活用させるために発展的な学習を行い、科学的な見方や考え方を養う。

2 指導の重点

- 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。
- 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。
- 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3 学習計画

学 期	月	学 習 内 容	時間
1学期	4	第1編 生物の特徴 基本的な内容の復習	
		1章 生物の多様性と共通性 多様な生物の共通点、生物の共通性としての細胞について	3
		2章 生命活動とエネルギー エネルギーと代謝、代謝にかかわる酵素、生体内におけるエネルギー変換 ミトコンドリアと葉緑体の起源について	3
		発展的な内容の学習及び問題演習 酵素の性質、光合成の反応過程、呼吸の反応過程、生物の特徴等	4
	6	第2編 遺伝子とそのはたらき 基本的な内容の復習	
		1章 生物と遺伝子	
		2章 正確に伝わる遺伝情報、DNAの構造、ゲノムと遺伝情報について	4
		2章 遺伝情報の分配 細胞分裂とDNAの複製、細胞周期とDNAの複製について	3
		3章 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報の流れ、転写、翻訳、遺伝子の発現と生命現象について	3
		発展的な内容の学習及び問題演習 ヒトのゲノム、遺伝子解明に関する科学史、DNAと染色体、半保存的複製、翻訳のしくみ等	5
	7	第3編 生物の体内環境の維持 基本的な内容の復習	
		1章 体内環境 体内環境の特徴、心臓と血液循環、体内環境を調節する器官について	4

2 学期	9	2 章 体内環境の調節 自律神経系による調節，内分泌系による調節，自律神経系とホルモンによる共同作業について	5
		3 章 免疫 免疫，自然免疫，適応免疫，免疫とヒトについて	5
	10	発展的な内容の学習及び問題演習 血液の凝固反応，ウイルス増殖に対する免疫細胞の対応，自己と非自己の認識，移植された細胞に対する免疫反応，花粉症のしくみ等	7
	11	第4編 生物の多様性と生態系 基本的な内容の復習 1 章 植生の多様性と分布 2 章 植生と生態系，植生の遷移について 2 章 気候とバイオーム 地球上の植生分布，陸上のバイオームについて	3 3 3
	12	3 章 生態系とその保全 生態系でのエネルギーの流れ，生態系での物質循環，生態系のバランスと保全，生物多様性の保全について 発展的な内容の学習及び問題演習 区画法と標識再捕法，生態系内の物質収支等	3 5
3 学期	1 2 3	・既習事項を踏まえた応用発展的な内容を学習 細胞のはたらき，タンパク質合成，細胞分裂とDNA量の変化，タンパク質合成とゲノム酵素の特徴，ホルモンによる体内環境の調節，腎臓のはたらき，ホルモンののはたらき，光の強さと生産構造，植生の分布と環境，生態系の栄養段階と物質循環，窒素の循環と窒素に関わる環境問題	1 5

計 7 5 時間(4 7 分授業)

4 課題・提出物等

実験・観察のレポートは実施時間内に作成し，提出することを原則とする。
各単元内の内容によっては，授業内小テストも実施することがある。
副教材に含まれる練習問題は，授業の進度に合わせて各自が家庭学習として行うことを原則とする。

5 評価規準と評価方法

評価は，次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，生物の共通性と多様性を意識するなど，科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査
- ・授業で活用するプリント・小テスト
- ・実験・観察のレポート
- ・授業中の学習意欲，提出物への取り組み

また，1年間の評定は，1学期から3学期の年間を通じて，上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

生物基礎では，生物や生命現象を通して，身の回りの動植物，自然，または自分自身のからだのしくみや現象について学習します。身近な生命現象を例に，生物の不思議さやおもしろさに迫っていきます。

令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	最新高等保健体育				
副教材等	最新高等保健体育ノート				

1 学習目標

- ・ 運動の実践を通して、運動技能を高め、仲間とともに楽しさ・喜びを深く感じることができる。
- ・ 日頃の体調を整えるとともに、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育む。
- ・ 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ・ 何事にも自己の能力を高めるためにも、あきらめずに取り組む姿勢を身につける。
- ・ 仲間とともに楽しさ・喜び・感動を分かち合いながら実践していく能力を身につける。
- ・ 様々な運動の特性を理解して、仲間とともに協力しながら実践し、互いに技能を高める。
- ・ 球技等のチームゲームにおいては、自己の役割を理解してチームに貢献する。
- ・ 安全に留意しながら、互いに相手を尊重して、公正な態度で試合ができるようにする。

3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間
1 学期	4	体づくり運動（集団行動含む）	26
	5	選択Ⅰ（球技） ↓ ソフトボール（雨天時バスケ）・サッカー（雨天時バレー）・ソフトテニス	
	6		
	7	選択Ⅱ（球技） ↓ ソフトボール・サッカー・ソフトテニス	
2 学期	9	↓	30
	10	選択Ⅰ（中・球技） ↓ バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン	
	11		
	12	↓	
3 学期	1	選択Ⅱ（中・球技） ↓ バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン	19
	2		
	3		

計75時間(47分授業)

4 課題・提出物等

特になし（但し、長期欠席や見学等の場合は課題の提出が必要な場合もある。）

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・ 運動の楽しさや喜びを学び、自ら積極的に参加している。 ・ 公正、協力、責任などの社会的態度が身についている。 ・ 健康、安全に留意しながら運動を実践している。
思考・判断	・ 運動の特性に応じた課題を自己やグループにおいて課題解決を目指し、工夫し活動している。
運動の技能	・ 自己・グループの能力と運動の特性に応じた課題を考慮しながら、自己・グループの技能向上を行っている。 ・ 与えられた課題を克服している。
知識・理解	・ 運動の大切さを理解して、体力の向上に努めている。 ・ 運動の特性、自己の体力・能力にあわせての高度の技術を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

出欠席の状況

授業中の態度（意欲）

実技のテスト等

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

- 1、体調管理をしっかり行い授業に臨むこと。
- 2、本校指定の体操着、内履き、外履きを着用すること。
- 3、授業開始に遅れないよう活動場所に集合、整列しておくこと。
- 4、見学をする場合は授業の1時間前に担当者に申し出指示を受けること。
- 5、貴重品は各自でしっかりと管理すること。

令和2年度シラバス（英語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	英語（総合英語）	単位数	4単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	CROWN English Communication III New Edition（三省堂）				
副教材等	・CROWN English Communication III New Edition Workbook（三省堂） ・EG4500（いいずな書店） ・[※予定: 2021 共通テスト対策 実力完成 英語リーディング 直前演習（ランズ）]				

1 学習目標

英語を通して情報や相手の意向などを理解する能力を一層伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

具体的には2年次「総合英語」の活動を発展させ、

ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

2 指導の重点

・聞くこと、話すこと、書くことと関連づけた活動を行ないながら、主に読むことの指導に重点を置く。

・未知語の意味の推測、内容についての背景知識の活用、パラグラフ構造の理解、目的や状況に応じた適切な読み方などに配慮して、自立的で積極的な読みができるよう指導する。

・英単語帳や共通テスト問題演習をとおり、語彙力や文法力を強化し、英語理解のレベル向上を図る。

3 学習計画

学期	月	学 習 内 容		時数
1 学 期	中 間	Lesson 1 An American in the Heart of Japan Lesson 2 Design for Whom? Lesson 3 God's Hands		56
	期 末	Lesson 4 Be Aware! Be Engaged! Lesson 5 Only a Camera Lens between Us		
2 学 期	中 間	Lesson 6 The Magic of Reality Lesson 7 Being Bilingual	2学期より4単位のうち1単位を共通テスト演習に充てる。過去の受験者データとの比較分析をとおり、弱点を明らかにした上で解説を行う。	60
	期 末	Lesson 8 Green Revolution, Blue Revolution Lesson 9 What's Not for Sale?	共通テスト問題演習	
3 学 期	学 年 末	Lesson10 Stay Hungry, Stay Foolish	共通テスト問題演習	33

計149時間（47分授業）

4 課題・提出物等

- ・朝学習を実施する。
- ・授業時 EG4500 を使用した単語テストを実施する
- ・週末課題、長期休業中課題を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーション への関心・意欲・態度	いろいろなジャンルの話や読んだ内容に関心を持ち、意見や感想を述べようとするなど積極的にコミュニケーションを図り、言語活動に積極的に取り組んでいる。
英語表現の能力	伝えたい情報や考えなどを文法に従って正しく話したり書いたりすることができる。 正しい発音・リズム・イントネーションで、文章の内容や解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読することができる。
英語理解の能力	正しく聞きとったり読みとったりして、情報や相手の意向を理解することができる。 文章を場面や目的に応じた適切な速さで読むことができる。
言語や文化について の知識・理解	語句や文構造、文法や表現、文章構成の知識を身に付けている。 英語使用者の日常生活、風俗習慣など、文化的背景、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。

各学期の評価は具体的には次のものを対象とし、出席状況を加味し総合的に判断し決定します。

- ・定期考査、及び課題考査
 - ・朝学習課題、週末課題、長期休業中課題への取り組み状況
 - ・各提出状況
 - ・単語テスト等各小テスト成績
- ＊学年末の評価は、各学期の評価から総合的に判断し決定します。

6 担当者からの一言

授業は予習を前提とします。これまで身につけた文法・語彙の知識を基に、より語数の多い抽象度の高い英文に対し、速度を意識しながら読む訓練を繰り返しましょう。特にパラグラフの内容把握に重点を置いたリーディングスキルを身につけ、英語の論理展開に慣れることを目指します。復習には本文の音読やサイトトランスレーション（文頭から区切って訳す）等を繰り返してください。「予習→授業→復習」のサイクルで積極的に取り組むことを期待します。

令和２年度シラバス（英語）

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語（英語理解）	単位数	2 単位	学年（コース）	3 学年（国際教養科）
使用教科書	CROWN English Communication III New Edition（三省堂）				
副教材等	『三訂版 ビューポイントスタンダード英文読解の着眼点 15』（数研出版）※前半 『改訂版 ビューポイントアドバンスト英文読解の着眼点 15』（数研出版）※後半 『Vintage 3rd Edition 準拠ランダム問題集 Aviator600』（2 年次より継続使用）（いっずな書店）				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解し自らの考えを深める能力を一層伸ばす。

具体的には、2 年次の授業での活動を発展させ、

ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

2 指導の重点

・生徒の学習到達度に応じて指導ができるように、1 クラスを 2 つに分け、少人数制で授業を行う。

1 未知の語の意味を推測して読む練習をする。

2 共通テストレベルや個別試験の多くの長文に触れることで、長文に慣れるとともに、速読力をつけ、更に関連する背景知識をつける。

3 文章の中でポイントとなる語句や文、段落の構成や展開などに注意して読むよう指導する。

4 目的や状況に応じて、速読や精読など、適切な読み方ができるようにする。

3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間
1 学期	Lesson 1 An American in the Heart of Japan	『着眼点 15(S)』 着眼点 1, 2	28
	Lesson 2 Design for Whom?	着眼点 3, 4 着眼点 5, 6	
	Lesson 3 God's Hands	着眼点 7, 8 着眼点 9, 10	
	Lesson 4 Be Aware! Be Engaged!	着眼点 11, 12 着眼点 13, 14	
	Lesson 5 Only a Camera Lens between Us	着眼点 15 『着眼点 15(A)』 着眼点 01 着眼点 02	
		『Aviator』 Day5 動詞と文のかたちに関する問題②	
		Day6 句・節に関する問題② Day7 動詞の語法とイディオム②	
		Day8 名詞・代名詞・形容詞・副詞の語法とイディオム② Day9 動詞と文のかたちに関する問題③ Day10 句・節に関する問題③	

2 学 期	Lesson 6 The Magic of Reality Lesson 7 Being Bilingual Lesson 8 Green Revolution, Blue Revolution Lesson 9 What's Not for Sale?	着眼点 03 着眼点 04 着眼点 05 着眼点 06 着眼点 07 着眼点 08 着眼点 09 着眼点 10 着眼点 11 着眼点 12 着眼点 13 着眼点 14 着眼点 15	Day11 動詞の語法とイディオム③ Day12 名詞・代名詞・形容詞・副詞の語法とイディオム③ Day13 総合問題① Day14 総合問題② Day15 総合問題③	30
3 学 期	Lesson 10 Stay Hungry, Stay Foolish	2次・私大対策 直前演習		17

計75時間（47分授業）

4 課題・提出物等

- ・毎回、読解、文法・語法のテストを行う。

5 評価規準と評価方法

- ・毎回の小テスト評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、間違えることを恐れずに、学んだ表現などを意欲的に活用して、英語で書く活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力	文法に従って正しい文を書くことができる。 伝えたい情報や考えなどを、場面や目的に応じて整理し、適切な語句や表現を用いて、正確に書くことができる。 文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。
英語理解の能力	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。情報や考えなどを読み、相手が伝えようとすることを、正確に理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	語句や文法、場面や目的に応じた適切な表現、文章構成の知識を身に付けている。 文化について理解し、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・毎回の小テスト

6 担当者からの一言

この英語理解は使用教材からも分かるように、総合英語、英語表現と密接につながっています。総合英語で身につけた読解力がどれくらい正確に運用されているか、英語表現で学んだ基本英文をどれくらい応用できるのか、少人数クラスのメリットを生かして確認していきます。

それゆえ、各回の予習・復習は必須です。定期考査が無い分、毎回の取り組み状況や小テストの結果をそのまま評価点としますので、今の自分にできる精一杯の解答を作ってきてください。

令和2年度シラバス（英語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語（英語表現）	単位数	3単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用準教科書	『CROWN English Expression II』（三省堂）				
副教材等	三訂版 入試必携 英作文 Write to the Point（数研出版） 英文法・語法 Vintage 3rd Edition（いっずな書店） 総合英語 Factbook（桐原書店） 『共通テストリスニング分野別10 min.』（エミル出版） ※予定『2021 共通テスト対策実力完成 英語リスニング 直前演習』（ランズ） ※予定『共通テストリスニング実戦 30min.』（エミル出版） [※予定: 2021 共通テスト対策 実力完成 英語リーディング 直前演習（ランズ）]				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。

具体的には、2年次の英語表現での活動を発展させ、

ア. 聞いたり読んだりした内容について、場面や目的に応じて概要や要点を書く。

イ. 聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを整理して書く。

ウ. 自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書く。

エ. 英語で聞いて、情報や話し手の意向などを理解する。

2 指導の重点

- ・生徒の学習到達度に応じて指導ができるように、1クラスを2つに分け、少人数制で授業を行う。
- 1 和英辞典で見つけた未知の語彙は、英和辞典で語法を確認してから使用するよう指導する。
- 2 辞書を使わずとも、既知の語彙で表現する応用力をつける。
- 3 制限時間内に、既定の語数に、考えをまとめて表現する演習を積む。
- 4 単文の羅列ではなく、接続語や副詞を適切に使用し、まとまりのある文を理路整然と書くよう指導する。
- 5 英語の音声聞いた後、そのスクリプトを用いて反復する。具体的にはナチュラルな速度よりさらに速い「高速朗読」での速聴トレーニング、さらにディクテーションを行い、スクリプトの定着を図る。

3 学習計画

3単位のうち、2単位はライティング指導に、1単位はリスニング指導に充てる。

期	学習内容			時間
	復習項目	2単位	1単位	
1学期中間	『CROWN English Expression II』 Part1 文法編 Lesson 1 [時制・助動詞・受動態] Lesson 2 [不定詞・動名詞・分詞] Lesson 3 [比較・関係詞] Lesson 4 [仮定法・接続詞] Lesson 5 [疑問詞]	[入試必携 英作文] 1 主語の決定(1) 2 主語の決定(2) 3 目的の表現 4 理由の表現 5 時制(1)	『共通テストリスニング 分野別10min.』 Part 1 (傾向確認編) 第1問対策～第6問B対策 Part2 (実戦演習編) 第1部 第1回～5回	19
1学期期末	Lesson 6 [否定] Lesson 7 [特殊構文] Lesson 8 [名詞・冠詞] Lesson 9 [代名詞] Lesson 10 [形容詞・副詞]	6 時制(2) 7 動詞の語法 8 関係詞 9 時間の表現 10 数字の表現	第1部 第6回～10回 第2部 第11回～20回 『直前演習』 ※予定	19

2 学 期 中 間	Part2 機能表現編 Lesson 1 [感情を表す表現] Lesson 2 [希望・願望／依頼・要請／許可] Lesson 3 [原因・理由／目的／結果] Lesson 4 [忠告・義務／必要／提案・勧誘] Lesson 5 [時間的順序]	11 仮定・条件の基本 12 仮定・条件の応用 13 比較の基本 14 比較の応用 ※2学期より2単位のうち1単位を共通 テスト演習に充てる。	『直前演習』 ※予定 『共通リスニング 実戦30min.』 ※予定	22
2 学 期 期 末	Lesson 6 [空間配列・方向] Lesson 7 [方法・様態／数量] Lesson 8 [賛成・反対] Lesson 9 [例証／比較・対照／譲歩] Lesson 10[要約]	15 譲歩の表現 16 重要表現(1) 17 重要表現(2) 18 Sは～だ 共通テスト演習	『共通リスニング 実戦30min.』 ※予定	22
3 学 期	共通テスト演習			30

計112時間（47分授業）

4 課題・提出物等

- ・各課題を提出する。
- ・週末課題、長期休業中課題を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、間違えることを恐れずに、学んだ表現などを意欲的に活用して、英語で書く活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。
英語表現の能力	文法に従って正しい文を書くことができる。 伝えたい情報や考えなどを、場面や目的に応じて整理し、適切な語句や表現を用いて、正確に書くことができる。 文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。
英語理解の能力	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。情報や考えなどを読み、相手が伝えようとすることを、正確に理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解	語句や文法、場面や目的に応じた適切な表現、文章構成の知識を身に付けている。 文化について理解し、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。

各学期の評価は具体的には次のものを対象とし、出席状況を加味し総合的に判断し決定します。

- ・定期考査
- ・週末課題、長期休業中課題への取り組み
- ・小テスト

学年末の評価は、各学期の評価から総合的に判断し決定します。

6 担当者からの一言

2年次の英語表現で学習した表現や文法・語法の知識をまとめ、さらにその知識の運用力を高め、さらにリスニング力を伸ばすことがこの授業のねらいです。基本的な英文から高度な内容の英文までを書く演習をとおして文法・語法の再確認をし、自分の考えをよりスピーディに英語に置き換える力を養います。さらに幅広い表現の仕方を学び、単純な表現の繰り返しを避け、内容・形式共に豊かな英文を書くことを目指すとともに、幅広い話題や形式に対応するための聞く力を養います。

また、英語で書く際には、参考書や辞書を使いこなして予習することが要求されます。自分なりの英文を作った後に、授業でさらに多様な表現を習得することが大切です。

令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	古典A（選択）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	高等学校 古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章（第一学習社）				
副教材等	書き込みながら覚える古典文法ワークノート（第一学習社） 基礎から解釈へ漢文必携四訂版（桐原書店）等				

1 学習目標

古典としての古文と漢文、古典に関する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 古典を読むために必要な語句の意味や用法、文法事項を身に付ける。
- ② 古典に描かれた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、自分の考えを深めたり、視野を広げたりする。
- ③ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすることによって、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。
- ④ 感想文やレポートの作成を通して、自身の感じたことを表現する力を身につける。

3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学 期	中 間 大和物語「旅寝の夢」 「いはで思ふ」 諸家の文章「答陳商書」	・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・助詞、助動詞の知識を確認し、解釈に生かす。 ・短めの文章を読んで、漢文に親しみをもち話の内容を理解する。 ・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。	38
	期 末 大鏡「道長と女院詮子」 「二葉の葵」 諸家の文章「黠鼠賦」	・複雑な人間関係を理解しながら読み進め、登場人物の行動や心情を展開に即してとらえる。 ・歴史物語の特徴と文学的意義を理解する。 ・助動詞、敬語表現の知識を確認し、解釈に生かす。 ・古代中国人のものの見方・考え方を味わうとともに、日本人のものの見方・考え方との共通点や相違点を考える。 ・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。	
2 学 期	中 間 源氏物語「藤壺の宮の入内」 「物の怪の出現」 不思議な世界「織女」	・長編物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞、敬語表現の知識を確認し、解釈に生かす。 ・場面の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。	45
	期 末 源氏物語「六条院の新春」 「紫の上をしのぶ」 不思議な世界「売鬼」	・長編物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞、敬語表現の知識を確認し、解釈に生かす。 ・場面の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。	
3 学 期	評論「源氏物語玉の小櫛」 不思議な世界「買粉児」	・評論を読んで、文章の内容を展開に即して的確に捉える。 ・助詞、助動詞の知識を確認し、解釈に生かす。 ・古代中国人の発想のおもしろさに触れ、中国における小説の芽生えと成長について考える。 ・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。	29

計112時間(47分授業)

4 課題・提出物等

副教材は、授業の補完教材として用いたり、家庭学習用の教材として用いたりするので、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立てること。また、提出を要する場合は遅滞なく提出すること。また、定期的に文章を「書く」課題も課し、評価の対象とするので、真剣な取り組みを期待する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。
読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査及び年3回の課題考査
- ・授業で活用するプリントへの取り組みや、その提出状況
- ・長期休暇に出題される課題への取り組みや、その提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

「古典A」では、2年生までの学習で学んだ古典の知識を確認しながら、自分で解釈ができるように学習を進めていきます。今までよりも学習進度が速くなるので、予習を欠かさないようにしましょう。また、センター試験や私大入試に対応した学力をつけることを目標にした授業を行うので、積極的な姿勢で授業を受けるようにしてください。

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理歴史（世界史B）	単位数	5単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	『詳説世界史 改訂版』（山川出版社）				
副教材等	『グローバルワイド最新世界史図表』（第一学習社）『新世界史研究ノート標準編』（啓隆社） 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』（とうほう）				

1 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ① 政治・経済・社会・文化など様々な分野の歴史的事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟な見方を養う。
- ② 日本と関連する諸国については当該国から見た日本の姿に着目し、世界史における日本の位置付けを明確にする。
- ③ 戦争を防止し、民主的で平和な国際社会を実現させることが重要な課題であることを認識する。

3 学習計画

学期	単元名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
一学期中間	1 オリентと地中海世界	・古代オリент世界の特徴を学ぶ。 ・ギリシアおよびローマ世界の繁栄を理解する。	32	下記5参照
	2 アジア・アメリカの古代文明	・インドの古代文明と宗教について学ぶ。 ・新石器文化から漢代の中国王朝の展開を理解する。 ・中南米のアメリカ文明の独自性を把握する。		
	3 東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシス民の動向を学ぶ。 ・魏晉南北朝時代の分裂について把握する。 ・隋唐の繁栄と東アジア文化圏の形成を理解する。		
	4 イスラーム世界の形成と発展	・イスラームの成立について学ぶ。 ・イスラーム王朝の変遷を理解する。 ・インドやアフリカへの広まりを把握する。		
一学期期末	5 ヨーロッパ世界の形成と発展	・ゲルマン人の移動にはじまる西欧世界の形成とビザンツ帝国を中心に東欧世界の特徴を理解する。 ・十字軍遠征からの中世世界の変容を把握する。	32	
	6 東アジア世界の展開	・宋と北方民族の関係とその特徴を学ぶ。 ・モンゴル民族の発展と元の支配について理解する。		
	7 アジア諸地域の繁栄	・明清の繁栄について学ぶ。 ・ティムール朝からオスマン帝国、サファビー朝の繁栄を理解する。 ・ムガル帝国の興隆とインド支配の特徴を把握する。		
	8 近世ヨーロッパ世界の形成	・スペインとポルトガルを中心にヨーロッパ世界の拡大について理解する。 ・ルネサンスと宗教改革の内容、さらには主権国家体制の成立について把握する。		

二 学 期 中 間	9 近世ヨーロッパの展開	・重商主義と啓蒙専制主義の特徴を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の海外進出を把握する。 ・17から18世紀のヨーロッパ文化について学ぶ。	37	下記5 参照
	10 近代ヨーロッパの成立	・イギリス産業革命とその意義について学ぶ。 ・アメリカ独立革命の内容を理解する。 ・フランス革命とナポレオン戦争の展開を把握する。		
	11 国民国家の発展	・ウィーン体制の成立と崩壊について学ぶ。 ・19世紀の欧米諸国の発展を理解する。 ・19世紀の文化の特徴を把握する。		
	12 アジアの動揺	・オスマン帝国支配の動揺について学ぶ。 ・アジアの植民地化の過程を理解する。 ・アヘン戦争以降の清朝の衰退を把握する。		
二 学 期 期 末	13 帝国主義と民族運動	・帝国主義の成立と世界分割について理解する。 ・アジア諸国の改革と民族運動を把握する。	38	
	14 二つの世界大戦	・第一次大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制について理解する。 ・世界恐慌とファシズムの台頭について学ぶ。 ・第二次大戦とアジア太平洋戦争の展開を把握する。		
	15 冷戦と第三世界の独立	・戦後の東西冷戦の構図と第三世界の動向を学ぶ。		
	16 現在の世界	・社会主義の変容と冷戦の終結の課程を把握する。		
学 年 末	テーマ学習	・履修済の内容のうち、さらに学習を深める必要のある事項をより深く探求する。 ○経済政策と戦争の関係について ○世界の地域紛争（宗教要素・地政学的要素など） ○世界平和と日本の役割について	48	

計 187 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行なう。			
(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③資料活用の技能)	(④知識・理解)
世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代社会の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断・追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な資料を選択して活用することを通じて歴史的事象を研究する方法を身に付けている。	世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、以下から総合的に評価する。 1. 授業のとりくみ姿勢（授業態度、学習活動への参加状況など） 2. 提出物などの内容・提出状況 3. 定期テスト			

6 担当者からの一言

上記の計画は、生徒の学習状況・理解度など諸事情に応じて変更されることもある。

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理歴史（日本史総合）	単位数	5単位	学年（コース）	3学年（国際教養科の日本史選択者）
使用教科書	『詳説日本史改訂版』（山川出版社）『改訂版現代社会』（第一学習社）				
副教材等	『最新日本史図表』（第一学習社）、『政治・経済資料2020』（とうほう）				

1 学習目標

わが国の形成の歴史的経過と文化の特色について認識と理解を深め、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ①近代以降の日本の形成過程を、主として政治や社会の変遷をたどることによって理解させる。
- ②近代以降の日本と諸地域との間で展開された外交交渉について、世界史的な視野から考察する。
- ③近代以降の日本文化について、各時代の政治との関わりを踏まえながら、各時代の文化の特色を把握し、現代の日本文化との関連性・連続性について考察する。
- ④上記の目標を達成するため、歴史事象もしくは歴史用語が正確に理解・把握されるよう務める。

3 学習計画

学 期	学習内容	指導上の留意点	時間
1学期	テーマ学習Ⅰ ① 帝国主義と明治維新 ② 社会主義と大正デモクラシー ③ 「満州」と日本 ④ アジア世界から見た日本の戦争 ⑤ 明治～昭和の文化 ⑥ 冷戦下の日本 ⑦ 多極化する世界と日本 ⑧ 戦後の文化	・既習の日本史の学習内容に加え、世界史的観点から日本の近現代史を考え、国際環境や歴史的事象の関連性について理解する。 ・グループごとにテーマを選び、レポートを作成し、代表者による発表を行う。	64
2学期	テーマ学習Ⅱ ① 形式的な解放令 ② 日韓両国民の歴史認識の相違 ③ 工女のこえた峠 ④ 田中正造と足尾鉍毒事件 ⑤ 東京の変容 ⑥ 関東大震災の混乱 ⑦ 沖縄戦 ⑧ 東京裁判 ⑨ 復員と引き上げ	・現代社会の学習内容をもとに日本の近現代史を考え、世界史的観点で国際環境や歴史的事象の関連性について理解する。 ・グループごとにテーマを選び、レポートを作成し、代表者による発表を行う。	75
3学期	課題研究 各自で設定した課題について探究活動を行う	・探究したことをレポートにまとめ、発表する。	48

計187時間(47分授業)

4 課題・提出物等

- ・学習の進度に応じて、確認テストや練習問題等の課題を課す。
- ・視聴覚教材等を用いた場合に感想レポートを課すことがある。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。
- ・長期休業中に補習を行う。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行う。

(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③技能)	(④知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用技能	知識・理解
日本史に関する関心を深め、意欲的に課題を探究しようとしている。	日本史の特質を、国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できている。	日本史の展開に関する諸史料について、その内容を理解し、歴史的事象を探究するために活用している。	日本史に関する基本的な事柄を、国際環境に関連づけて理解し、その知識を身につけている。

以上の点を踏まえ

- ・授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況、出席状況など）
- ・定期考査
- ・必要に応じて課されるレポートや長期休業中に課される課題などから、総合的に判断する。

6 担当者からの一言

日本史総合では、2年次日本史Bの学習の上にたち、近代史を深く学ぶために、明治政府の成立から現代までを扱う。政治史の流れを正しく捉えることに留意しながら、各時代で興味・関心を高める教材を工夫する。

また、日本人としての常識や教養を確かめ培うため、旧暦と干支、不定時法、尺貫法等の旧度量衡といった、日常生活の中に現在も息づく旧習についても折に触れて取り上げていきたい。

そのほか、テーマを設定して資料を活用し探究して、考えを論述する活動を行いたい。

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理総合	単位数	5	学年（コース）	3 学年（国際教養科 地理選択者）
準教科書	帝国書院 新詳地理B＜地B304＞、 高等地図帳（二宮書店）＜地図314＞				
副教材等	新編地理資料2019（東京法令出版） 2020 データブックオブ・ザ・ワールド（二宮書店） 新政治・経済資料（実教出版） 用語集現代社会＋政治経済19-20年版（清水書院）				

1 学習目標

現代社会の諸事象を考察し、問題認識能力を培うとともに、国際社会で主体的に生きる日本人・国際人としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

2年次に学習した事項を基礎として、1年間を通して「テーマ学習」を基本とする。現代社会にある諸事象、諸課題について、地理を切り口に、多面的な視点から捉えられる資質を培い、世界と日本の諸課題への対処法を探究する。

3 学習計画

学 期	月	学習内容	留意点	時間
1 学期	4	日本の気候 日本の自然災害と防災	災害列島日本と云われているが、自然災害は、産業や生活との関わりという視点があって、はじめて正しく認識できる事項であることを指摘する。その上で、人間と自然とがどう関わりながら地域社会を次世代に引き継ぐべきかを検討してゆく。日本の直面する諸課題を通して見つめ直す。国家と個人、地域社会と個人、諸集団と個人など、集団の中での生活を視点に掘り下げる。	6 4
	5	日本の環境問題 日本の農林水産業		
	6	日本の食料問題 日本の資源・エネルギー問題		
	7	日本の工業 日本の貿易の現状と課題		
	9	日本の人口問題 日本の都市		
		日本の都市・居住問題 日本の生活文化 民族・領土から捉えた日本		
2 学期	10	東アジア 隣国との交流と今後の動向 東南アジア		7 5
	11	ASEAN 諸国の変化と発展、直面する諸課題 南アジア 発展するインドの工業・IT産業		
	12	西アジアと中央アジア 宗教のふるさと、めぐまれた資源と産業 北アフリカとサハラ以南のアフリカ		
3 学期	1	人々の生活の変化と他地域との結びつき ヨーロッパ EUと難民問題、これからのヨーロッパ		4 8
	2	ロシア 極東ロシアと日本の結びつき アングロアメリカ		
	3	世界のリーダー、アメリカ合衆国の諸課題 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる生活		

	オセアニア アジア諸国に輸出される農畜産物、天然資源 世界の中の日本が直面する、地球的課題の追求	○日本、世界の諸地域が直面している諸課題を通して、一人一人が何ができるのか、何をなすべきかをレポートにまとめ、提出させる。それを元に意見交換をし、グローバルエイジングの中にある人類の諸課題に、どう向き合うべきかを探求する。	
--	--	---	--

計 187時間(47分授業)

4 課題・提出物等

作業学習、レポート

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。	
関心・意欲・態度	現代世界の諸事象に対する関心と課題意識を高め、諸課題に対する問題点の認識と、解決法を見いだそうとする姿勢を培うことができる。
思考・判断・表現	現代世界の諸事象から課題を見だし考察すると共に、刻々と変化する国際社会を踏まえ、課題追求の過程や結果を適切に表現している。
資料活用・技能	地図、統計、写真資料、イメージ化した図表、新聞など、諸資料の理解と活用を学び、必要な情報収集能力を向上させ、問題解決のための技能を身につける。インターネット学習、図書館学習、聞き取り調査(保護者、条件が整えば、地域住民)を体験し、生の情報を集め、分析し、理解する能力を培う。 1年次に学習した世界史の歴史的視点も踏まえ、3年次は政治経済も同時履修しているため、政治経済の学習内容の視点も交えながら、多面的に諸課題の分析と対処法を探ることができる。
知識・理解	現代世界の諸事象について基本的な知識を踏まえて、現代社会で何が課題として取り上げられているのかを認識し、意見交換を通して問題認識能力を深め、課題解決の方法、対処法を探求することができる。
評価は具体的には次のものを対象とします。 ・年5回の定期考査(中間考査、期末考査) ・授業で活用するプリント(テーマ学習での作業的なプリント) ・レポート(テーマ学習での諸課題に対応する、資料集・分析・まとめ・発表・意見交換) ・学習への参加状況(授業の記録ノート) また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。	

令和 2 年度シラバス (数学)

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	数学 (数学総合 I)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年 (国際教養科)
使用教科書	「数学 I Standard」「新編数学 A Standard」(東京書籍)				
副教材等	ニューアクション・ベーシック数学 I + A (東京書籍)				

1 学習目標

- ① 数学における概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
- ② 様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高める。
- ③ 課題を総合的かつ多面的に考察し、数学的論拠に基づいて解決する能力を高める。

2 指導の重点

- 1 1 月までは 1, 2 年生の学習内容の確認、1 2 月からは発展的な問題に取り組むことに重点を置く。

3 学習計画

学 期	月	学習内容	時間
1 学期	4	問題集を使って、数学 I の内容を整理・学習する。	2 8
	5	やや複雑な公式も定着するよう家庭学習もしながら、複数の単元の関連について考え、様々な別解を考えることで総合的かつ多角的に問題を扱う。	
	6	数学 I 1 章 数と式	
	7	2 章 集合と論証	
	7	3 章 2 次関数	
	7	4 章 図形と計量	3 2
	7	5 章 データの分析	
2 学期	9	数学 A の内容を整理・学習した後は、発展的な問題を取り扱い、じっくりと取り組むことによって、数学的な表現や処理を利用する態度を育み、論理的に説明できるようにする。	
	10	数学 I と数学 A の両方の知識を必要とする問題などに挑戦し、応用力を身につける。	
	11		
	12	数学 A 1 章 場合の数と確率	1 5
		2 章 整数の性質	
		3 章 図形の性質	
		発展的な内容 ・ 2 重根号 ・ 連分数 ・ ヘロンの公式	
		多面的な内容 ・ 三角比と方べきの定理 ・ 交代式と対称式の関連	
		数学の論理や体系を理解し、それらを的確に活用するための技能の習熟を図る。	

3 学期	1	数学の論理や体系を理解し、それらを的確に活用するための技能の習熟を図る。	
	2		
	3		

計 75 時間（47 分授業）

4 課題・提出物等

授業担当者の指示に従って、課題があればしっかり取り組み、提出を求められたものは必ず提出してください。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断できる。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 定期考査
- ・ 授業で活用するプリント
- ・ 学習への取組状況

また、年間の評定は、1 学期から 3 学期までの 1 年間を通じて上記の内容及び出席状況により、総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

週に 2 回しか授業がないので、センター試験の受験を本気で考える人は、授業時間だけでなく毎日の家庭学習を大切にしてください。黒板を写すことに終始せず、自分の頭で考え、問題を解く姿勢が求められます。

令和2年度シラバス (数学)

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	数学（数学総合Ⅱ）	単位数	4 単位	学年（コース）	3 学年（国際教養科）
使用教科書	数学Ⅰ Standard」「数学Ⅱ Standard」「数学Ⅲ Standard」（東京書籍）				
副教材等	改訂版 センター攻略 Pick Up120 数学Ⅰ＋Ⅱ／Ⅲ＋Ⅳ（東京書籍）				

1 學習目標

- ①数学における概念や原理・法則の体系的な理解を深める。
- ②様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高める。
- ③課題を総合的かつ多面的に考察し、数学的論拠に基づいて解決する能力を高める。

2 指導の重点

- 1 学期は 1, 2 年生の学習内容の確認、2, 3 学期は発展的な問題に取り組むことに重点を置く。

3 学習計画

学 期	月	学習内容
1 学期	4	教科書、問題集を用いて 1， 2 年生の内容について既習の公式や事項を学習する。 各科目の基本レベルからじっくりと取り組むことにより、数学的な表現や処理をして論理的に説明できる能力を育む。(5 5 時間)
	5	数学Ⅰ：数と式、集合と論証、2 次関数、図形と計量、データの分析
	6	数学 A：場合の数と確率、整数の性質、図形の性質
	7	数学Ⅱ：方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、 指数関数・対数関数、微分と積分
2 学期	9	教科書や一般的な問題集とは異なる形式で出題される問題に対応するため、発展的な内容を含み、科目にまたがった多面的な学習を行う。(6 3 時間)
	10	数学Ⅰ：数と式、集合と論証、2 次関数、図形と計量、データの分析
		数学 A：場合の数と確率、整数の性質、図形の性質
	11	数学Ⅱ：方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、 指数関数・対数関数、微分と積分
	12	発展的な内容 ・ 極座標 ・ 逆関数 ・ 4 次関数 多面的な内容 ・ 余弦定理と加法定理の関係 ・ 複素数平面と極形式 数学の論理や体系を理解し、それらを的確に活用するための技能の習熟を図る。(3 1 時間)
3 学期	1	数学の論理や体系を理解し、それらを的確に活用するための技能の習熟を図る。
	2	
	3	

計 149時間 (47分授業)

4 課題・提出物等

授業担当者の指示に従って、課題にはしっかり取り組み、提出を求められたものは必ず提出してください。

5 評価基準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断している。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・定期考査
- ・授業で活用するプリント
- ・学習への取組状況

また、年間の評定は、1学期から3学期までの1年間を通じて上記の内容及び出席状況により、総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

センター試験の受験を考え、この科目を選択した人は、難しい問題とたくさん出会うことになるでしょう。難しい数学の問題を通して、数学的な考え方を今以上に身につけてくれたら嬉しく思います。そして、その考え方や考える力を生かして、社会で活躍できる人に成長していけるように、一緒に頑張っていきましょう。

令和2年度シラバス（理科）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	理科（化学総合）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	第一学習社「高等学校 改訂化学基礎」、東京書籍「化学」				
副教材等	浜島書店「つかむセンター化学基礎」				

1 学習目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心・探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
- 化学の基本的な概念や原理・法則を深めるとともに、知識を活用させるために発展的な学習を行い、科学的な自然観を育成する。

2 指導の重点

- 化学が人間生活に果たしている役割を理解できるとともに、日常生活や社会と関連付けることができる。
- 物質について微視的な身方ができるようにする。化学反応に関する基本的な概念を理解させる。
- 元素の性質が周期表に基づいていることを理解させ、日常生活に応用されていることを学習する。
- 仮説を設定・検証する実験を通して、結果を分析・解釈し、自らの考えを導き出す学習活動を行う。また、それらを表現するための報告書を作成する機会を設ける。

3 学習計画

学 期	月	学習内容	時間
1学期	4	「化学基礎」 2章3節 酸化還元反応 酸化と還元、酸化剤と還元剤の反応、 金属のイオン化傾向、酸化還元反応の利用、 電池、電気分解	18
	5		
	6	発展的な内容を踏まえた発展学習 第1章	6
	7	第1節 物質の成分と構成元素 第2節 原子の構造と周期表 第3節 化学結合	6 6 6
2学期	9	第2章 第1節 物質量と濃度 第2節 化学反応式 第3節 酸と塩基	11 11 11
	10	第4節 酸化還元反応	11
	11		
	12	基礎的内容を踏まえた発展的な学習 センター対策問題集	6

3 学期	1	基礎的内容を踏まえた発展的な学習 無機物質 有機物質	1 3 1 3
	2		
	3		

計 1 1 2 時間(4 7 分授業)

4 課題・提出物等

- ・ 実験・観察のレポートは指示した期日内に提出すること。
- ・ 副教材の練習問題等は、授業の進度に合わせ各自が家庭学習として行うこと。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。講義、実験いずれの授業においても集中力を保つことができる。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。授業内容について科学的な捉え方ができる。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。実験結果に対する考察が充分であり、その内容を適切に伝達できる。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。学んだ内容が関連付けて整理され定着している。

このため、評価は具体的には次のものを使用して行う。

- ・ 年4回の定期考査
- ・ 授業および朝学習で活用するプリント
- ・ 実験・観察のレポート
- ・ 授業中における学習への意欲、提出物への取り組み状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

6 担当者からの一言

この講座では、より専門的な「化学」の内容に踏み込んだ授業を展開する。2年次の「化学基礎」の内容を十分に理解した上での学習となる。そのことを理解し化学分野が得意な者、または上級学校を目指す意欲のある者が選択して欲しい。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	音楽Ⅱ	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	教育出版 音楽Ⅱ Tutti 改訂版				
副教材等					

1 学習目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① さまざまなジャンルの音楽に触れることから、幅広い音楽の知識と技能を身につける。
- ② さまざまな演奏の活動を通し、豊かな感性・表現力を身につける。
- ③ 音楽における技能と感性を高めることにより、生涯音楽を愛好する心を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	基礎練習①	読譜力、発声法の基礎練習	・コンコーネ No. 1～7 を視唱 （毎時間一曲ずつ視唱）	6	授業の取り組み
	歌唱①	日本の歌	・からたちの花 ・朧月夜 ・落葉松 ・有節歌曲形式と通節歌曲形式との違いによる効果を生かして表現する。	1 2	授業の取り組み 実技試験
	楽典①	音楽理論の基礎、楽譜の読み書き	・音楽Ⅰで学んだ楽典の復習 ・音階、音程、調性の学習	6	筆記テスト
	器楽①	ギター演奏	・旋律・コード伴奏によるアンサンブル（グループごとに曲を選択）	1 2	授業の取り組み グループ発表
2 学期	基礎練習②	読譜力、発声法の基礎練習	・コンコーネ No. 8～15 を視唱 （毎時間一曲ずつ視唱）	3	授業の取り組み
	歌唱②	イタリア語、ドイツ語、フランス語の歌唱	・Sogno（伊）・An die Musik（独） ・Hymne a l'amour（仏） ・イタリア語、ドイツ語の発音の特徴、歌詞の意味を理解して、歌唱の表現を深める。	1 2	授業の取り組み 実技試験
	鑑賞①	日本の音楽 世界の音楽	・六段の調 ・越天楽 ・トーキングドラム	1 2	授業の取り組み 鑑賞レポート
	楽典②	コード理論	・音楽Ⅰで学んだコードの復習 ・7 th 、sus4、aug コードについて	8	筆記テスト
	器楽②	箏・三味線の演奏	・箏・三味線の基本的な奏法 ・「六段の調べ」	1 5	授業の取り組み グループ発表
3 学期	鑑賞②	プレゼン「私の好きな音楽」	・楽曲を選択し、特徴と表現上の効果、文化的・歴史的背景について理解し、プレゼンテーションする	6	授業の取り組み
	器楽③	演奏会	・音楽Ⅱで学んだ教材の中から、グループで選んだ楽曲の演奏発表を行い、演奏会をつくる。	2 0	授業の取り組み グループ発表

計112時間（47分授業）

4 課題・提出物等

- ・実技試験、グループ発表、筆記テストなど、授業時間内で課題を出します。
毎回出席していればできる課題です。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・授業の取り組み
- ・個人での実技試験（歌唱）
- ・グループ発表（器楽）
- ・筆記テスト（楽典）
- ・レポート（鑑賞）

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

音楽Ⅱでは、今まで学習してきた内容を復習しながら、さらに奥深い音楽表現、技術の向上、感動ある音楽体験を探っていきます。様々な音楽の特徴や文化の違いなどを、歌って、演奏して、聴いて、知って、あらゆる音楽体験を通して学び、より豊かな音楽表現を目指して工夫しながら、そして音楽をする喜びを感じながら進めていきましょう。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	美術Ⅱ	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	高校生の美術Ⅱ（日本文教出版）				
副教材等					

1 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① 様々なジャンルの美術作品に触れることから、幅広い美術の知識と技能を身につける。
- ② 上級学校への進学を見据えて、高度な技能、表現力を習得する。
- ③ 美術における技能と感性を高めること、生涯美術を愛好する心情を育成する。

3 学習計画

学 期	単元名	学習活動（指導内容）	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1学期	デザイン 色彩構成	コラージュ、色面構成	テーマやキャッチコピーを設定し、それにそって色紙を使い制作する。	9	テーマやキャッチコピーを表現しているか。構成力、色彩の美しさ。
	絵画	手を入れた自画像、色紙による自画像制作	手でポーズを作り、自画像と組み合わせて描写する。色紙を使い、貼り絵による自画像制作。	24	立体感、空間感の表現。構成力、色彩の美しさ、完成度。
	立体	粘土塑像、	粘土を使い、中が空洞の幾何立体（立方体、四角錐）を制作する。	9	形の正確さ、しっかりと空洞を作られているか。
2学期	鑑賞	美術作家のDVD鑑賞		3	
	絵画	鉛筆デッサン	B3、木炭氏大の画用紙に質感の違う静物を組み合わせデッサンする。	33	物と物との関係や立体を客観的に把握し、空間をとらえているか。質感の違いが描き分けられているか。
	デザイン	ポスター制作	B3 画面でポスターを制作する。	9	文字の配置、構成、色彩の美しさ。
3学期	絵画	人体描写	人体の骨格を研究し、様々なポーズ、場面をイ	10	人体のあらゆるポーズでの骨格や筋肉の動きを矛盾なくとらえ

		植物写生	メージして描写し着彩。 切り花、鉢植えを細密描写、着彩。	1 5	ているか。柔軟な発想力と工夫、完成度。 活けられた花、鉢植えの花の手前と奥の空間表現、植物の瑞々しさが表現できているか。
--	--	------	---------------------------------	-----	---

計 1 1 2 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④ 鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

6 担当者からの一言

- ・ 美術Ⅰの内容をふまえて何を描きたいのか、見る人に伝わるような表現をめざしてください。

令和2年度シラバス（芸術）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	書道Ⅱ	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	光村図書 『書Ⅱ』				
副教材等	教育図書 『くらしのペン習字』				

1 学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ①「漢字仮名交じりの書」の学習では、自らの思いや感動を表す語句を選び、漢字や仮名の古典の学習を生かして芸術的な表現を高めるとともに、実用的な表現も高めていく。
- ②「漢字の書」の学習では、さまざまな書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作に生かしていく。
- ③「仮名の書」の学習では、さまざまな書風にふれることによって美しさや表現方法を学び、表現技術を高め、それらを創作に生かしていく。
- ④相互批評などの言語活動を通して、自己を表現する力を養う。

3 学習計画

学 期	単元名	学習事項	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1学期	書の変遷	書の変遷	書の変遷について学ぶ。	2	授業の取組 プリント提出
	『漢字の書』 「篆書」の古典に学ぶ	・泰山刻石	古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方を学ぶ。	3	授業の取組 作品提出 プリント提出
	「篆刻」	・落款印の制作	篆刻の用具・用材について理解し、篆刻の仕方について学習する。	1 2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	「隸書」の古典に学ぶ	・曹全碑	古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方を学ぶ。	3	授業の取組 作品提出 プリント提出
	「草書」の古典に学ぶ	・書譜	古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方を学ぶ。	3	授業の取組 作品提出 プリント提出
	「行書」の古典に学ぶ	・祭姪文稿	古典の臨書学習により、書道Ⅰで学んだ基本をさらに深め、表現方法を広げる。	3	授業の取組 作品提出 プリント提出
	「楷書」の古典に学ぶ	・始平公造像記	古典の臨書学習により、書道Ⅰで学んだ基本をさらに深め、表現方法を広げる。	3	授業の取組 作品提出 プリント提出

1 学期	漢字の書の創作 (生活に生かす書)	・ 陶芸書制作	自らの思考や感動を表現できる語句を選び、各書体の特長を生かした表現を工夫する。	1 3	授業の取組 作品提出 プリント提出
2 学期	『仮名の書』 「仮名」の古典に学ぶ	・ 高野切 1 種 ・ 寸松庵色紙	古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方を学ぶ。	1 2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	仮名の書の創作	・ 散らし書きによる 創作	自らの思考や感動を表現できる語句を選び、古筆の技法を生かした表現を工夫する。	1 2	授業の取組 作品提出 プリント提出
	漢字仮名交じりの書 (生活に生かす書)	・ 卒業作品制作 (カレンダー制作) ・ 年賀状制作	・ 卒業に向けて今の気持ちを自分の言葉で表現する。 ・ 年賀状を制作し、葉書の書き方を学ぶ。	2 1	授業の取組 作品提出 プリント提出
3 学期	生活に生かす書	・ のし袋の書き方 ・ 手紙の書き方 ・ 硬筆	・ 実用書の書き方を学ぶ	2 5	授業の取組 作品提出 プリント提出

計 1 1 2 時間 (47 分授業)

4 課題・提出物等

・ 授業中のレポートやプリントについては期限内に提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の 4 つの観点から行います。

①書への関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、 ・ 授業の取り組み、提出物の内容・提出状況などから総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

・ 書道 I で学んだ知識や技術を使いながら、より専門的で幅広い書道の学習を行います。
・ 作品制作を通して、表現する喜びを感じ、創造性を育んでほしい。

令和２年度シラバス（英語）

学番 9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語（時事英語）	単位数	4 単位	学年（コース）	3 学年（国際教養科）
使用準教科書	『CROWN English Communication III New Edition』（三省堂）				
副教材等	『NEO 現代を見る Approach 最新入試頻出テーマによる英語長文 20 選』（いっずな書店） 『NEO 現代を読む Standard 最新入試頻出テーマによる英語長文 20 選』（いっずな書店） 『Grammar Collection 英文法・語法問題集 Full Version』（いっずな書店）				

1 学習目標

大学入試に出題された英文を読んで、時事的な問題を含めたさまざまなテーマの英語を理解するとともに、そこで得た知識や情報を活用する基礎的な能力を養う。また、英文法・語法問題についても演習をとおり、その定着を図る。

2 指導の重点

- ・ 読解に必要な語彙力や文法力を強化します。
- ・ パラグラフの構造を理解し、文章全体の論理構成・展開を考えながら、筆者のメッセージを正しくとらえる力をつけます。
- ・ さまざまなテキスト・タイプに対応した読解のスキルを習得します。
- ・ 読解の背景知識として、異なる文化や価値観についての理解を深めます。
- ・ 習得した語彙、文法を用いて表現できる力を養成します。
- ・ 理解した内容について、自分の意見を持ち、それを発信できる力を育成します。

3 学習計画

学期	学 習 内 容				時間
1 学期	『CROWN』	『NEO 現代を見る Approach』		『Grammar Collection』	56
	Lesson 1	Unit 01	Art	1 時制	
	An American in the	Unit 02	Family	2 受動態	
	Heart of Japan	Unit 03	Literature	3 助動詞	
	Lesson 2	Unit 04	Sport	4 仮定法	
	Design for Whom?	Unit 05	Memory	5 不定詞	
	Lesson 3	Unit 06	Lifestyle	6 動名詞	
	God's Hands	Unit 07	Story	7 分詞	
	Lesson 4	Unit 08	Design	8 動詞の語法①	
	Be Aware! Be Engaged!	Unit 09	Environment	9 動詞の語法②	
2 学期		Unit 10	Language	10 関係詞	60
	Lesson 5	Unit 11	Creatures	11 接続詞	
	Only a Camera Lens	Unit 12	Biography	12 前置詞	
	between Us	Unit 13	Difference Based on Sex	13 形容詞の語法	
	Lesson 6	Unit 14	Global Warming	14 副詞の語法	
	The Magic of Reality	Unit 15	History	15 比較	
	Lesson 7	Unit 16	Culture	16 名詞の語法	
	Being Bilingual	Unit 17	Psychology	17 代名詞の語法	
	Lesson 8	Unit 18	Foreign Language	18 主語と述語動詞の一致	
	Green Revolution, Blue	Unit 19	Food	19 疑問文	
	Revolution	Unit 20	Business	20 否定・倒置・省略・強調	
	Lesson 9	『NEO 現代を読む Standard』			
	What's Not for Sale?	Unit 01	Environment		
	Lesson 10	Unit 02	Society		
	Stay Hungry, Stay	Unit 03	Human History		
	Foolish				

		Unit 04 The North-South Problem Unit 05 Custom Unit 06 Language Unit 07 Family Unit 08 History Unit 09 Writing Systems Unit 10 Creatures Unit 11 Science Unit 12 Culture Unit 13 Sympathy Unit 14 Human Relations Unit 15 Therapy Dogs		
3 学 期		Unit 16 Advertisement Unit 17 Food Unit 18 Water Unit 19 Genetic Engineering Unit 20 Science		33

計 1 4 9 時間（4 7 分授業）

4 課題・提出物等

- ・ 授業には必ず予習をした上で臨んでください。
- ・ 各課終了時に、文法・語法等を確認する復習テストを行います。

5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーション への関心・意欲・態度	相手の話や読んだ内容に関心を持ち、意見や感想を述べようとするなど積極的にコミュニケーションを図り、言語活動に積極的に取り組んでいる。
英語表現の能力	伝えたい情報や考えなどを、文法に従って正しく話したり書いたりすることができる。 正しい発音・リズム・イントネーションなどを用い、文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読することができる。
英語理解の能力	聞いた内容について正しく聞き取り、情報や話し手の意向を理解することができる。 書かれた内容について正しく読み取り、情報や書き手の意向を理解することができる。 文章を場面や目的に応じた適切な速さで読むことができる。
言語や文化について の知識・理解	語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。 文法や表現、文章構成の知識を身に付けている。 文化について理解し、ものの見方や考え方などの違いについて理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 年4回の定期考査
- ・ 各課の小テスト

また、学年の評定は、各学期の成績を元に総合的に判断して決定します。

6 担当者からの一言

単語を一生懸命に覚え、文法・語法の問題集を必死になって勉強していても、長文問題が苦手という人が多いようです。この授業では、単に「大学の過去問を解く」といった表面的なアプローチではなく、英文形式に合った形で「展開を推測する」「話の流れをつかむ」「情報を整理しながら読む」「情報をすばやく検索する」といった本質的な速読スキルをトレーニングすることを目的としています。また、テキストの内容はいずれも「新しい素材」であり、「読む価値がある知的レベルの高い英文」が並んでいます。

必ず設問と十分格闘した上で授業に臨むなど、積極的な姿勢で授業に参加し、長文に対する苦手意識を克服してください。同時に、現在の社会情勢や文化など、多くの話題に触れ、背景知識を深めることも目標としています。

令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（情報処理）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（国際教養科）
使用教科書	実教出版『最新情報処理 新訂版 Advanced Computing』				
副教材等					

1 学習目標

- ・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。
- ・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。
- ・表計算ソフトウェアや情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。

2 指導の重点

- ・ビジネスの諸活動における幅広い情報活用能力が求められる状況を踏まえて、
 - ①利用するソフトウェアの操作方法や理論に偏ることなく具体的なデータを用いた実習を行う。
 - ②基本的な表計算の関数を学び、処理された情報を分析し活用する能力を身に付けさせる。
 - ③コンピュータのハードウェアやソフトウェア、システムの性能や構成について広く知識を身に付ける。
 - ④LANやインターネット、データ通信の仕組みを学びネットワーク社会への参画意識を高める。
 - ⑤著作権やプライバシーの保護などの情報モラルの必要性や個人情報のセキュリティ管理を習得させる。

3 学習計画

期	単 元 名	主要学習領域・学習活動	時間	評価方法
一学期 中間	1章 情報の活用と情報モラル 1節 ビジネスと情報 2節 情報モラル 3節 ハードウェアとソフトウェア 2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理 1節 情報通信ネットワークの概要 2節 ビジネス情報の検索と収集 3節 ビジネス情報の受信と発信 4節 セキュリティ管理の基礎	・ビジネスの諸活動における情報の役割とコンピュータを利用した情報活用の重要性を学ぶ。 ・情報化社会に参画するために個人が身につけるべき情報モラルについて学ぶ。 ・コンピュータや周辺機器の仕組みと、ソフトウェアの役割を理解し、目的に応じた機器の選択や利用ができる知識を身につける。 ・情報通信ネットワークの概要と、ビジネスにおけるインターネットの様々な利用方法やその効果について学ぶ。 ・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について学ぶ。 ・電子メールの利用方法について学ぶ。 ・情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について学ぶ。"	11	授業の取り組み 課題提出
一学期 期末	3章 ビジネス情報の処理と分析 1節 基本的な表の作成 2節 関数を利用した表の作成	・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作ができるようにする。 ・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ぶ。 ・合計、平均、最大値、最小値、判定、件数カウント、端数処理、順位付けや日付などの関数を利用できるようにする。 ・表の検索や文字列の加工、データベース関数などの応用的な関数が利用できるようにする。	14	定期テスト 授業の取り組み 課題提出
二学	3章 ビジネス情報の処理と分析 3節 グラフの作成	・グラフを用いて表のデータをわかりやすく表現できるようにするため、グラフの基礎知識や作成方法を学		定期テスト

期 中 間	4節 情報の整列・検索・抽出 5節 ビジネスと統計	ぶ。 ・表のデータを目的に応じた利用しやすい形で取り出し活用するため、整列や検索の技法などを学ぶ。 ・目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの傾向をとらえる力を習得させる。	1 3	授業の取組み 課題提出
二 学 期 期 末	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 図形と画像の活用 3節 基本文書の作成 4節 応用文書の作成	・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解させる。 ・図形や画像情報の活用により情報の簡潔化、明瞭化、印象の強化などの効果が期待できることについて理解させる。 ・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解させるとともに、基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術を習得させる。 ・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得させる。	1 8	定期テスト 授業の取組み 課題提出
三 学 期 期 末	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法 2節 ビジネスとプレゼンテーション	・プレゼンテーション活動の目的や方法について理解させる。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得させる。	1 9	授業の取組み 課題提出

計 7 5 時間(4 7 分授業)

4 課題・提出物等

- ・指示された課題の提出。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
ビジネス情報の収集、整理・加工、伝達に情報技術を活用するための知識・技術を積極的に身につけようとする。	情報をビジネスに活用するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、情報を活用しやすい形に加工する工夫を行うとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断・表現ができる。	ソフトウェアを用いた情報の整理や加工、情報通信ネットワークを活用した情報の収集・発信などの基礎的な技能を身につける。	ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけている。 ビジネスの基礎知識ならびにコンピュータのハードウェア、ソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの活用に関する基礎的な知識を身につけている。
以上の点を踏まえ、 ・授業の取組み（授業態度、課題提出など） ・出席 ・定期テスト などから、総合的に判断します。			

6 担当者からの一言

タッチメソッド、表計算ソフト、課題レポート作り、インターネット活用などを基礎から学び、パソコンの有効的な活用を身に付け、大学入試共通テストに対応できるよう学習を進めていきます。